

「ステップ2のシナリオ検討」における代表シナリオの選択 に関するコメント

- 代表シナリオを検討するに当たっては、「数年後の判断」、「FBRサイクルや直接処分」の技術開発後の判断（約20年後）」を分岐点として設定すべき。
- 長期的な選択肢として「FBR」に繋がる代表シナリオとしては、少なくとも、以下のようなものを考える必要がある。
 - 「LWR-MOX限定」→「LWR-MOX限定」→「FBR」のシナリオ（従来政策）
 - 「SF貯蔵」→「LWR-MOX限定」→「FBR」のシナリオ（FBRサイクル技術を数年間、技術維持した後に、積極的な開発に復帰）
 - 「SF貯蔵」→「SF貯蔵」→「FBR」のシナリオ（軽水炉サイクルは実施しないもののFBRサイクル開発は積極的に進めてFBRを導入、もしくは、自主開発を実施せずに、海外から導入）

核燃料サイクルに関わる政策選択肢
（これらの選択肢について、更に原子力発電設備容量の選択肢が掛け合わされる）

